

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の海洋科学に対する意欲や探究心を高める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②実習や学校行事、生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	①アクティブラーニングを深い学びにつなげるための研究授業、教員研修会の実施及び内容の充実を図る。 ②実習や研究活動を通して、生徒の主体的な行動の促進を図る。	①アクティブラーニングを通じた生徒の「深い学び」の実現に向けた科目や教科の横断的な授業展開方法を研究する。 ②地域や産業界と連携した実践的、体験的な学習活動を積極的に推し進めるとともに、生徒が実習や研究活動の成果を校内・校外で発表する機会の増加を図る。	①生徒の授業評価において「授業でわからないところがあつたら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして、わかるうとする努力をしている。」の最も高い評価が40%以上となったか。 ②地域や産業界と連携した実験や実習を实践し、それらを発表する機会が前年度より増加したか。					
2 生徒指導・支援	①行事・部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①部活動加入率の増加等、部活動の活性化に向けた取組を推進する。 ②支援が必要な生徒に対する迅速な対応が可能となる教育相談体制を構築し、支援、指導の充実を図る。	①生徒の意識調査の実施をもとに分析と具体的方策の策定。 ②SC、養護教諭、教育相談コーディネーターの連携を密にし、担任等の関係職員との情報共有を徹底し、個々の支援に当たる。	①意識調査をもとに具体的方策を立て部活動加入率の増加ができたか。 ②関係各所の連携を個々の生徒の支援に結びつけることができたか。					
3 進路指導・支援	生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。	・専門に関するインターンシップの取組を推進し、生徒の専門深化を図るとともに、適切な勤労観、職業観を育成する。	・事前事後学習を十分に行い、専門グループごとのインターンシップの設定と実施を推進する。	・専門グループによるインターンシップが前年度より多く実施されたか。また、参加生徒数が前年度より増えたか。					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	<p>①教職員一人ひとりが創意工夫し学校の魅力を開発・発信し、学習センター機能を充実・発展させる。</p> <p>②地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①海洋学習センター機能の充実・発展を図り、本校の魅力を十分に発信するとともに、本校の教育資源を活用した取組を推進する。</p> <p>②地域産業界等との連携、協働を推進し、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを推進する。</p>	<p>①三浦真珠プロジェクトを始めとした学校外組織との連携による事業を進めるとともに、成果を積極的に発信、本校の教育資源活用の分野拡大と深化を行う。</p> <p>②地域関連産業、漁協等のイベントなどに参加する機会を増やし、信頼関係をより深める取組を行う。</p>	<p>①海洋学習センターの事業取組状況およびホームページへのアクセス数が前年度より増えたか。</p> <p>②イベントへの参加が前年度より増えたか。またイベントでのアンケート結果で生徒の自己肯定感を高めることができたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。</p>	<p>神奈川県教育課題について教職員の意識を高めるため、教員研修会の実施及び内容の充実を図る。</p>	<p>地域との交流を積極的に推進する為のイベントなどを企画立案するための研修会等を開催する。</p>	<p>研修会の参加率及び提案された企画数を高めることができたか。</p>					